



電気興業 株式会社 川越事業所

国策会社の日本無線電(株)の第二会社として1950年に設立。1960年ふじみ野市に川越事業所を建設しました。

川越事業所は、移動通信基地局、テレビ放送用鉄塔等の電気通信施設の建設工事・改修・保守業務を実施。管理統括部門として、全国の拠点営業とネットワークで結び、工事協力や資材調達等を担当しています。スカイツリーや東京タワーの放送用アンテナ設備を担うなど、設立以来半世紀以上にわたり日本の通信・放送インフラを守っています。

移動通信・放送用アンテナ

高度情報化社会の礎である通信・放送インフラを支えています



新事業所完成イメージ (2026年5月竣工予定)

〒356-0044 ふじみ野市西鶴ヶ岡1-1-1
TEL 049-261-1511
FAX 049-261-5582
Web <https://denkikogyo.co.jp>
代表者 代表取締役社長 近藤忠登史
資本金 8,774百万円
従業員 110名 (全社1,064名)
設立年 1950年

国際規格の取得、主な表彰、開発実績

- 東京タワーのアンテナ設備を担当
- 国内初LED航空障害灯(高・中光度タイプ)

主要設備

- ・電波無響室
- ・国内最大級の指向性測定システム
- ・国内最長尺の溶融亜鉛めっき設備 他



開発・設計の様子



鉄塔の製作

主要事業、得意技術や自社製品の紹介

- 電気興業は、電気通信と高周波応用装置を事業の両軸としており、そのなかで川越事業所は、電気通信の建設部門を担っています。
- 電気通信部門では、放送用アンテナや携帯電話の基地局アンテナなど、超長波からミリ波にいたる各種アンテナ、付帯装置の製造をはじめ、鉄塔から局舎まで、開発・設計・製作・建設を一貫して手がけています。メンテナンスなどのアフターサービスまでを含めたトータルシステムは、お客様の高い信頼を得ています。
- 環境対応製品としてバイオメタノールを燃料とすることでカーボンニュートラルを実現する、メタノール改質型燃料電池の製造・販売を手掛けております。

提供したいこと&求めること

- 建設工事を協力していただける技術力のある会社を探しています。



東京タワーのアンテナには、電気興業の技術が導入されています



移動通信用鉄塔の製作・設置
厳しい建築基準をクリアする高度な設計技術が必要です



長波支線式送信鉄塔
国内でも特殊な長波支線式鉄塔アンテナの設計・製作・建設工事を行い、メンテナンスまで一貫して手がけています



メタノール改質型燃料電池